

図 1 :

対照グループ（水素ガスを吸入していない、通常体温管理）と比較して水素ガス吸入グループでは低体温療法グループと同等の生命予後改善（左図）や行動量（移動回数）・認知機能の改善（右図）が見られました。さらに、水素ガス吸入は低体温療法との相乗効果を認めました。

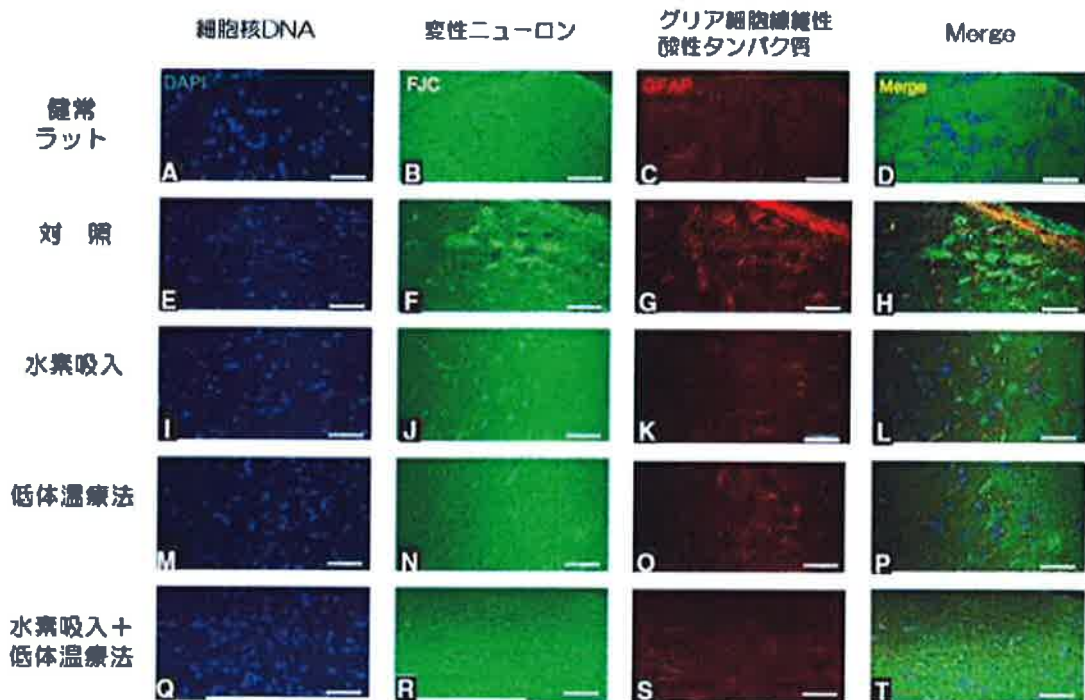


図 2 :

対照グループでは大脳皮質の神経細胞死（変性ニューロン）やアストロサイト（グリア細胞線維性酸性タンパク質）の増加が著明に認められたが、水素ガス吸入によりそれらが抑制され、さらに低体温療法と水素ガス吸入を組み合わせることにより最も高い効果を認め、行動実験や生存実験の結果を裏付けるものと考えられました。（注釈） Merge: 各群の 3 つの画像（細胞核 DNA、変性ニューロン、グリア細胞線維性酸性タンパク質）を組み合わせさせた画像。